



避難訓練中

ど、どんどん駅の方に
向かって逃げた、途中で死んだ赤ちゃんをおぶったお母さんが安心して浴衣の帯をだらりと下げてひざがみえる格好でフラフラ

と歩いていて子供ごろにも恐ろしかった。今でもその姿が目には焼きついて離れません。途中何度も揺り返しが来た。母にしがみついて何時間歩いたのか全く覚えていません。くたくたになつてどこの駅から乗ったのか、汽車に飛び乗って新居の関まで行きそこからボンボン蒸気につけて家に帰りました。



当時を語る西坂さん

阪神・淡路の方々もずいぶん辛く大変だったろうと思います。一日も早い復興をお祈りします。

結婚後、十年位は日本も戦争状態で満鉄勤務の夫について中国に渡り恐い思いもしました。その頃、米と塩、砂糖をさらしの袋に入れて夜は枕元に置いて寝てましたよ。



油火災の消火訓練

- 相良 政次 69才
なんばするてえー、別になかえー。
- 服部 五一 79才
なーんもなか。
- 松崎 マツ 82才
ガチャガチャ食べんごとしよる。好き嫌いなし。
- 荒牧 孝 83才
三食きちんきちんと戴くようになつて好き嫌いがなくなりました。上げ膳据え膳だ何でも美味しい。
- 村上栄養士(？才)
あまり悩まずクヨクヨしないことかな。
- 毛利指導員(？才)
月曜から土曜迄の一週間をベストの状態に保つことを心がけてます。日曜日は情眼を楽しみ家事に心血を注いで、いつもよりよいねいに新聞に目を通したり読みかけの本を読み、あとはボーッと過すことにしてます。



関東大震災を語る

静岡の浜名湖の近くで生まれた西坂さんが尋常小学校六年の時(大正十二年九月一日)大震災は起こった。東京の病院に入院していた兄を見舞うため上京して見舞いがすんだので兄の家の

玄関を出て、渋谷駅に行くところ、ドーンという大砲の様な音がして地面が揺れだした。母と二人で地面にうずくまって這おうとしたが、丁度熱発して動けないような感じ

で一生懸命でした。駅がどこにあるのか見当がつかなかったけど、どんどん駅の方に向かって逃げた、途中で死んだ赤ちゃんをおぶったお母さんが安心して浴衣の帯をだらりと下げてひざがみえる格好でフラフラ

発行所
養護老人ホーム
延命園
長崎市寺町32
(0958)22-8563
(題字)池田可宵先生



かんのんさま 園長 堤 祐 祥

延命時の山門を入るとすぐ左上に観音様が立っている。これは健康観音様である。若いときに健康を害された方が神仏を信ずる事に依って健康を恢復されたことで、あるときお寺の早朝参拝を思い立たれた。

お大師さまにいたく帰依されていたので当然延命寺にも参拝されていた。ある朝住職があまりに熱心にお参りに見えるので気軽に声をかけた。それ以来住職とおつきあいが始まり十年が過ぎた。その方はひとつの健康、信仰の三こうである。また次の十年も同じように



継続され三十ヶ年早朝連続参拝記念として延命寺本堂前にひときわ大きな健康観音像の建立奉納を許可されたのである。このように一つの事を三十年間続ける事は至難の技である。然も早朝、雨風雪の自然の厳しさを克服してである。その方

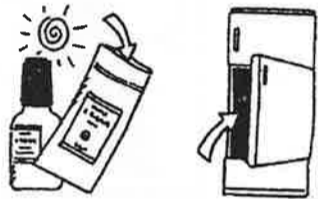
やさしいお顔の
かんのんさま

目は元気でですか①



延命園では白内障など眼科疾患で目薬使用者が24人います。効果的な使用方法をどうぞ

- ① 手指を石けんで洗う。
- ② 目薬の先端にさわらないようキャップをはずす。
- ③ 目薬の位置を固定。
(目薬の先端が目やまつげにふれないよう)
- ④ もう一方の手のひとさし指で下まぶたをひっぱる。
- ⑤ 顔を上にむけ一回に一滴。
- ⑥ 点眼し終わったらそのままの姿勢で一分位目を閉じる。
- ⑦ 終わったら目薬の貯法にしたがって保管。
- ⑧ 他の人の使っている目薬を使うことは避けて。

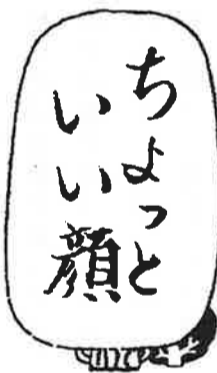


目薬の保管法

私の原爆記はお休みします。



あ・うんの呼吸 (延命寺で)



は九十近い天寿を全うされた。 “観音さま”これは観世音菩薩の略である。世の中の事をよく見、よく聞き、そして人々の願いをよく叶へて下さるのが観音さまである。 “世の中は悩めることの多けれど救い給へり大慈のちから”この句は延命寺境内白寿観音像前に刻まれている観音様の大きな慈悲の力を言い表した句です。

11月



きんたー

2日	29日	20日	19日	16日	15日	12日	10日	8日	7日	5日
諏訪神社 (みかん寄贈)	古町教会 様	玉木女子高校衛生看護専攻科 (実習) 様	浜屋 (北海道物産展 PR) 様	大谷 (ハーモニカ) 様	長崎純心短期大学 (見学) 様	社会福祉士会 “家族問題” 研究会 様	くるみ会 様	友愛社会館幼稚園 様	散髪奉仕 金子 様	ときやくんちへ

ペンのしずく

年をとる毎に欲やしがらみに身動きがとれなくなることに、岡本太郎は「人生は積み重ねの人生でなく積み減らしの人生でなければ」と言う。浄化作用を時々働かせなさいと言うことか。近頃肥満気味の筆者への警告でもある。(も)

27日	24日	21日	20日	19日	17日	16日	14日	12日	8日	6日	5日
ろうあ福祉協会長崎支部 様	県漁業協同組合連合会 様	日本たばこ産業 様	くるみ会 様	平和ライオンズ (温泉寄贈) 様	ボランティア交歓会 (2個人7団体) 様	養護学校 様	長崎大学附属	藤岡石油 (ケーキ寄贈) 様	長崎医師会看護専門学校 (実習) 様	外食デー (むつごろう) へ	散髪奉仕 金子 様